FUJITSU Software

ServerView Infrastructure Manager V2.0

操作手順書 の修正情報

版数:第3版 CA92344-1454-03 提供年月:2017年1月

# 【マニュアル修正情報】

# ServerView Infrastructure Manager V2.0 操作手順書

【修正履	【修正履歴】				
修正	提供年月日	修正箇所	修正概要	対象	
番号				バージョン	
1	2017年1月	2. 5	ネットワーク内ノードを検出してノード登録する場	V2.0.0.c	
		ノードを登録する	合の説明を追加		
			ノードを直接登録する手順 ノードタイプに		
			facility を追加		
2	2016年09月	2.6.	【手順】内の画像の差し替え	V2.0	
		ネットワーク接続を設定する			
3	2017年1月	2. 7.	「2.8.SNMP トラップ受信を追加する」の説明追	V2.0.0.c	
		アラームを設定する	加		
4	2017年1月	2. 8	章番号を修正	V2.0.0.c	
		ログ収集スケジュールを実行			
		する			
5	2017年1月	2. 8	章番号を修正	V2.0.0.c	
		ノードを削除する			

修正	提供年月日	修正箇所	修正概要	対象
番号				バージョン
6	2017年1月	2. 9	章番号を修正	V2.0.0.c
		ラックを削除する		
7	2017年1月	2.10	章番号を修正	V2.0.0.c
		フロアを削除する		
8	2017年1月	2.11	章番号を修正	V2.0.0.c
		データセンターを削除する		
9	2017年1月	3. 5.	説明文の修正	V2.0.0.c
		保管ログをダウンロードする		
10	2016年09月	4. 2.	【手順】内の画像の差し替え	V2.0
		ネットワーク上の異常個所・		
		影響箇所を確認する		
11	2016年10月	4.5.	【手順】内の一部手順と画像の削除	V2.0
		サーバのファームウェアをア		
		ップデートする		

注)修正記事は、対応する修正番号のページをご覧ください。修正記事の記載方法は、修正形式により以下のように異なります。

○ 記事の修正:修正後の内容を<u>点線の下線付きの青文字</u>で記載しています。

○ 記事の追加:追加した内容を青文字で記載しています。

○ 記事の削除:削除した内容に取り消し線が引かれています。なお、「修正概要」だけで、削除内容がわかる場合は、記載を省略しています。

○ 図やイメージの削除:削除した図、イメージに「削除画像」と記載しています。

○ 図やイメージの差し替え:差し替えた図、イメージに「差し替え画像」と記載しています。

○ 上記の形式での記載が難しいものは、「修正概要」に修正/追加/削除内容を記載していることがあります。

#### 2. 5. ノードを登録する

- 2.5.1. ネットワーク内ノードを検出してノード登録する
  - 1. グローバルナビゲーションメニューから[登録]を選択し、[ノード登録]画面を表示し ます。
  - 2. [アクション]ボタンから[手動検出]を選択し、[手動検出]ウィザードを表示します。
  - 3. 設定項目を入力し、[実行]ボタンを押します。
    - IP アドレス検出範囲 :検索対象とする範囲を IP アドレスで指定
    - アカウント : IPMI 固定
    - アカウント名 : iRMC のアカウント名
    - パスワード : iRMC アカウントのパスワード
    - ポート番号 : IPMI のポート番号 (デフォルト 623)
    - アカウント :以下から選択
      - ▶ iRMC/BMC:サーバを検出する場合に選択します。
      - SNMP: PRIMEQUEST または水冷 RackCDU を検出する場合に選択します。
      - SSH + SNMP : ETERNUS またはネットワークスイッチを検出する場合に選 択します。
    - アカウントごとに必要な項目を設定します。
      - iRMC/BMC の場合
      - ユーザー名 : iRMC/BMC のユーザー名
      - パスワード: iRMC/BMC のパスワード
      - ポート番号: iRMC/BMC のポート番号 (デフォルト 623)
      - SNMP の場合
      - バージョン: SNMP のバージョンを選択
      - ポート番号: SNMP のポート番号 (デフォルト 161)
      - コミュニティー: SNMP のコミュニティー名
      - SSH + SNMP の場合

SSH

- ユーザー名 : SSH のユーザー名
- パスワード: SSH のパスワード
- ポート番号: SSH のポート番号 (デフォルト 22)

SNMP

- バージョン: SNMP のバージョンを選択
- ポート番号 : SNMP のポート番号 (デフォルト 161)
- コミュニティー: SNMP のコミュニティー名
- 4. <u>ノード</u>が検出されると、[検出ノードリスト]画面に出力されます。検出には時間がか かりますが、自動更新設定が無効に指定されていると、検出ステータスは自動更新さ れません。自動更新設定の更新間隔を指定する、または更新ボタンをクリックして画 面を更新してください。
- 5. ステータスが[<u>Complete 完了</u>]と表示されたら、[検出ノードリスト]タブを選択しま す。
- 6. 登録するノードのチェックボックスを選択します。
- 7. [検出ノードリスト]画面の[アクション]ボタンから[検出ノード登録]を選択し、[ノ ード登録]ウィザードを表示します。
- 8. [ノード登録]ウィザードに従い、設定項目を入力します。設定項目の説明はヘルプ画

面を参照してください。

ヘルプ画面:

[登録]→[「登録」画面](ed)検出ノードリスト→[検出ノード登録]

以上でノード登録は完了です。ノード登録が完了すると、当該のノードは[検出ノードリスト] 画面から消去されます。

- 2.5.2.ノードを直接登録する
  - 1. グローバルナビゲーションメニューから[登録]を選択し、[ノード登録]画面を表示します。
  - 2. [アクション]ボタンから[登録]を選択し、[ノード手動登録]ウィザードを表示します。
  - [ノード手動登録]ウィザードに従い、設定項目を入力します。設定項目の説明はヘル プ画面を参照してください。
     ヘルプ画面:
     [登録]→[「登録」画面](ed)検出ノードリスト→[登録]
  - 4. [ノード手動登録]ウィザードの[1. ノード情報]において、[アカウント]の設定項目 の説明は以下の通りです。

<[ノードタイプ]	で server を選択した場合>
- IPMI	: IPMI でノードにアクセスしない場合は、チェックボックスを
	オフにします(デフォルト : オン)
- ポート番号	: IPMI のポート番号(デフォルト 623)
- アカウント名	: iRMC のアカウント名
- パスワード	:iRMC アカウントのパスワード

<[ノードタイプ]で switch または storage を選択した場合>

- SSH : SSH でノードにアクセスしない場合は、チェックボックスを オフにします(デフォルト:オン)
- ポート番号 : SSH のポート番号 (デフォルト: 22)
- アカウント名 : switch または storage のアカウント名
- パスワード : switch または storage のアカウントのパスワード
- SNMP : SNMP でノードにアクセスしない場合は、チェックボックス をオフにします(デフォルト:オン)
- バージョン : SNMP のバージョン
- ポート番号 : SNMP のポート番号 (デフォルト: 161)
- SNMP コミュニティー: switch または storage の SNMP コミュニティー名

<[ノードタイプ]でfacilityを選択した場合>

- SNMP : SNMP でノードにアクセスしない場合は、チェックボックスをオフにし ます(デフォルト:オン)
- バージョン : SNMP のバージョン
- ポート番号 : SNMP のポート番号 (デフォルト: 161)
- SNMP コミュニティー: SNMP コミュニティー名

<[ノードタイプ]で other を選択した場合>

- IPMI : IPMI でノードにアクセスする場合は、チェックボックスを オンにします(デフォルト:オフ)
- ポート番号 : IPMI のポート番号 (デフォルト 623)
- アカウント名 : iRMC のアカウント名

- パスワード : iRMC アカウントのパスワード

#### - SSH : SSH でノードにアクセスする場合は、チェックボックスを オンにします(デフォルト:オフ)

- ポート番号 : SSH のポート番号 (デフォルト: 22)
- アカウント名 : ノードのアカウント名
- パスワード :ノードのアカウントのパスワード

#### - SNMP : SNMP でノードにアクセスする場合は、チェックボックス をオンにします(デフォルト:オフ)

- バージョン : SNMP のバージョン
- ポート番号 : SNMP のポート番号 (デフォルト: 161)
- SNMP コミュニティー:ノードの SNMP コミュニティー名

グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画 面を表示します。 なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間が

かかる場合があります。

2. 事前設定

2. 6. ネットワーク接続を設定する

【手順】

- グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ネットワークマップ]を選択し、[ネ ットワークマップ表示]画面を表示します。 なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間が かかる場合があります。
- 2. [アクション]ボタンから[ネットワーク管理情報の更新]を選択し、[はい]を選んで実行します。

シュボード 登録	管理 > イベント/タスク >	ログ > 各種設定 >		S
ネットワークノードリスト 《	通常表示 🗸	RX Server-1	✓ ON/OFF	アクション 🗸
✓ 買●サーバ 🛕	RX Server-1		物理サーバ情報	· ^
korver-1				
NX Server-2	RX Server-2		物理サーバ名:	
NX Server-4		-	RX Server-1 ステータス:	
✓ IIIIS LANスイッチ	> 📕 RX Server-4		♥ アラームステータス:	
🔤 SR-X Switch-1			↓ モデル名:	
₩ SR-X Switch-2			PRIMERGY RX2520 M1 <b>ラック名:</b>	
SR-X Switch-3			rack-1 ラック内位置:	
SR-X Switch-4			20 スロット番号:	
	—		-	
			V4	
			192.168.123.14	
			ホスト名:	
			Windows Server 1 のSタイプ:	
			Windows	
し替え画像			OSバージョン:	
	<	>	ポート数:	
	1009	× +	5	~
	(True Truly)		<	>
/ps-br08.nir.qnet.rujitsu.com/v200_Mockup	/Even lask/			

3. [表示モード]プルダウンメニューで[手動接続編集]を選択します。

	[表示モー	- ド]		
ServerView Infrastructure Manager	ブルタウ	ンメニュー Language	? ヘルプ マ ISMAdministrato	r 🗸 FUĴÎTSU
ダッシュボード 登録 管理	· 112/1920 ·	ログ > 各種設定 >		2
ネットワークノードリスト く	通常表示 リンクアグリケーション ゴンサアグリケーション	RX Server-1	J ON/OFF	アクション Y
✓ 開きサーバ ▲ INS RX Server-1	于動按抗編集		物理サーバ情報	> ^
RX Server-2	> 🏷 RX Server-2	A	物理サーバ名: RX Server-1 フェータフ・	
<ul> <li>         ・ 「         ・ 」         ・ 「         ・ 」         ・         ・</li></ul>	> 👆 RX Server-4		ステータス: ⊘ アラームステータス: ∧	
SR-X Switch-1			モデル名: PRIMERGY RX2520 M1 ラック名:	
SR-X Switch-3			rack-1 ラック内位置: 20	
SR-X Switch-4			スロット番号: - IPアドレスパージョン: V4 IPアドレス: 192.168.123.14 ホスト名: Windows Server 1 OSダイブ:	
差し替え画像	<	+	Windows OS/「ーション: 2012R2 ポート数: 5	×

- 4. 接続するノードのアイコン内の<sup>▶</sup>マークを選択し、ネットワークポート(▲)を表示 します。
- 5. 接続する2つのポートを選択し、[追加]ボタンを押してください。設定した結線がグレーになります。
- 6. 設定する接続の数だけ手順3.~5.を繰り返します。
- 7. [ネットワークマップ表示] 画面で、[アクション] ボタンから[編集内容保存] を選択します。
- 8. [編集内容保存] 画面で設定した接続の内容を確認し、[保存] ボタンを選択します。
- 9. [表示モード]で[通常表示]を選択します。

以上でネットワーク接続設定は完了です。

2. 8. SNMP トラップ受信設定をする

2.8.1 SNMP 設定を変更する

#### 【説明】

コミュニティー名の設定(SNMPv1/v2c) を行います。デフォルトのコミュニティー名 は"public"に設定されており、必要に応じて変更します。

#### 【手順】

- 1. ISM-VA のコンソールに administrator ユーザーでログインします。
- 2. コマンド ismadm snmp set -name 〈新コミュニティー名〉を実行します。

2. 8. 2 MIB ファイルを追加する

#### 【説明】

HP サーバ、CISCO スイッチなど富士通以外のベンダーから提供されているハードウェ アを監視する場合、MIB ファイルを別途入手し ISM 内にインポートする必要があります。

【手順】

- 1. MIB ファイルを用意します。このとき、MIB ファイルに依存関係がある場合、対象のファイル全てが必要になります。
- 2. FTP を使って ISM-VA へ転送します。FTP で ftp://<ISM-VA の IP アドレス >/Administrator/ftp/mibs にアクセスし、MIB ファイルを全て格納します。
- 3. ISM-VA のコンソールに administrator ユーザーでログインします。
- 4. コマンド ismadm mib import を実行します。コマンドを実行すると、FTP に格納した MIB ファイル全てについて一括でインポート処理を行います。

2.8.2.9.ログ収集スケジュールを設定する

### 修正番号:5

<u>2.8.2.10.</u>ノードを削除する

## 修正番号:6

<u>2.9.2.11.</u>ラックを削除する

### 修正番号:7

<u>2.10.2.12.</u>フロアを削除する

## 修正番号:8

<u>2.11.2.13.</u>データセンターを削除する

3.5.保管ログをダウンロードする

【説明】

管理対象ノードから収集したログを時系列に並べて表示します。保管ログをダウンロー <u>ドすることができます。重大度、カテゴリ(ハードウェア、オペレーティングシステム)</u> <del>管理対象ノード 等の条件を指定することにより、表示するログを絞り込むことができます。 す。</del>

4. 利用シーンごとの操作

#### 4. 2. ネットワーク上の異常個所・影響箇所を確認する

【手順】

1. グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ネットワークマップ]を選択し、[ネ ットワークマップ表示]画面を表示します。 なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間が かかる場合があります。

jerverView Infrastructure Manager 🥐 🖓 🗸 👻 ISMAdministrator 👻 FUJITSU					
<b>ッシュボード 登録 管理 ~</b>	イベント/タスク 🗸	ログ ~	各種設定 >		2
ネットワークノードリスト く 通常	表示 🗸	RX Serve	er-1	J ON/OFF	アクション 🗸
◇ 闘●サーバ 🐥	-			物理サーバ情報	> ^
NX Server-1	> 👆 RX Server-1			M/17 / VIH+R	
RX Server-2	> E PY Server 2			物理サーバ名:	
RX Server-4	V No Server-2	÷		RX Server-1 ステータス:	
<ul> <li>         ・</li></ul>	> 🖡 RX Server-4	<b></b>		♥ アラームステータス:	
5R-X Switch-1				↓ モデル名:	
SR-X Switch-2				PRIMERGY RX2520 M1 ラック名:	
🔤 SR-X Switch-3				Fack-1 ラック内位置:	
5R-X Switch-4				20 スロット番号:	
				IPアドレスバージョン: V4	
				IPアドレス: 192 168 123 14	
				<b>ホスト名</b> :	
				Windows Server 1 OSタイプ:	
				Windows OSバージョン:	
きし 替え 画像			>	2012R2 ポートない	
	100%		- +	5	~
				<	>

- 2. 異常が発生しているノードはアイコンが赤色になっています。
- 3. [アクション]ボタンから[異常の影響範囲表示]を選択します。
- 4. 異常が発生しているノード間の接続が赤色で表示されます。

以上でネットワーク上の異常個所・影響箇所の確認は完了です。

4.5 サーバのファームウェアをアップデートする

【手順】

- 1. アップデートするファームウェアデータがインポートされていない場合は、最初に インポートを行います。インポート済みの場合は手順7. へ進みます。
- 2. Web サイトから iRMC/BIOS のファームウェアをダウンロードします。以下のサイト から対象モデルのファームウェアをダウンロードしてください。
- http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/ 3.任意のフォルダーにダウンロードしてきたファイルを格納します。ダウンロードした
  - ファイルが圧縮ファイルの場合は、フォルダー内で展開を行ってください。 \_ 🗆 X 📕 I 💽 📕 🚽 RX2530M1 ファイル ホーム 共有 表示 2 🃋 👗 切り取り 幕間く 🔠 すべて選択 **T** 貼り付け … パスのコピー X 🛋 33 選択解除 **₹**``+ ₩編集 移動先 コピー先 削除 名前の プロパティ 新しい フォルダー 🗵 ショートカットの貼り付け 🔡 選択の切り替え 亦面 クリップボード 整理 選択 新規 盟 🔄 💿 🔹 🕇 퉬 🕨 RX2530M1 ▼ C RX2530M1の検索 Q 名前 更新日時 種類 サイズ ▷ 😭 お気に入り ASP Linux 2016/06/30 16:42 ファイル フォルダー Þ 🛤 PC ASP\_Windows 2016/06/30 16:42 ファイル フォルダー Offline 2016/06/30 16:42 ファイル フォルダー ▷ 📬 ネットワーク Recovery 2016/06/30 16:42 ファイル フォルダー 퉬 Remote 2016/06/30 16:42 ファイル フォルダー release-note\_RX2530M1\_PGY1188.txt 2016/06/10 10:22 テキストドキュメント 20 KB オフラインアップデート手順書.pdf 2016/03/15 15:33 PDF ファイル 520 KB ■ オンラインアップデート手順書.pdf 2016/03/09 20:38 PDF ファイル 386 KB 」 はじめにお読みください.pdf 2016/03/09 20:38 PDF ファイル 336 KB Uモートアップデート手順書.pdf 2016/03/15 15:33 PDF ファイル 571 KB < :== 10 個の項目
- FTP を使って ISM-VA へ転送します。必ずフォルダー構造のまま転送するようにしてください。

FTP コマンドまたは FTP クライアントソフトウェア (FFFTP、WinSCP など)を使って転送してください。その際、文字コードが UTF-8 で変換されるように設定してください。 Windows Explorerを使用すると文字コードが正しく扱われないため、使用しないでください。

FTP クライアントソフトウェアから ISM-VA ヘログイン後、ルートディレクトリから「< ユーザーグループ名>/ftp」ディレクトリへ移動し、そのディレクトリに転送を行いま す。

エクスプローラーに、ftp://<ISM-VAのIPアドレス>/<ユーザーグループ名>/ftpを 入力します。

💻 I 🕞 🔝 = I	PC 🗖 🗖	x
ファイル コンピューター	表示	^ 🕜
プロパティ 開く 名前の 変更 場所		
🍥 🏵 🔻 🕈 📑 ftg	p://192.168.10.19/Administrator/ftp v → PCの検索	Q
☆ お気に入り      びランロード     ビー デスクトップ       愛 最近表示した場所	▷ フォルダー (6) ▷ デバイスとドライブ (8)	
I PC		_
🗣 ネットワーク	削除画像	
14 個の項目		:== 🖿

FTPフォルダーエラーが出力される場合は、フォルダー内で右クリックして「ログ オン方法」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力してログオンをクリックします。

		ログオン方法
90	この FTP サーバーにログ	オンするには、ユーザー名とパスワードを入力してください。
	FTP サーバー:	192.168.10.19
	ユーザー名(U):	administrator 🗸
	パスワード(P):	••••
	ログオンしたときに、このせ	ナーバーをお気に入りに追加して、簡単にそのサーバーに戻ることができます。
Δ	パスワードまたはデータを ンコード化が実行されて WebDAV を使用してく	サーバーに送信する前に、FTP によるパスワードまたはデータの暗号化またはエ いません。パスワードおよびデータのセキュリティを保護するには、代わりに ださい。
		削除画像
	□ 唐名でログオンする(	A) □ パスワードを保存する(S)
		ログオン(L) キャンセル

手順2で任意のフォルダーを作成した場合は、階層構造を保ったまま、ドラックして FTP フォルダーに配置します。



5. ファームウェアをインポートします。

ISM の GUI 画面のグローバルナビゲーションメニューから[各種設定]-[リポジトリ]を 選択します。[ファームウェア]の[アクション]ボタンから[ファームウェアインポー ト]を選択します。

画面表示に従い、ファイルの配置場所、種類、モデル、バージョンを入力して適用を 選択します。

入力するバージョンは、下記の表に従って入力してください。

種類	モデル	バージョン入力方法
iRMC	RX100 S8,	リリースノートを参照して、iRMC のバージョンと SDR
	CX2550 M1 など	のバージョンを指定してください。
BIOS	RX100 S8,	リリースノートを参照して、BIOS バージョンを指定
	CX2550 M1 など	してください。

インポートの開始後、作業が ISM のタスクとして登録されます。作業の状況は 「タスク」画面で確認してください。 グローバルナビゲーションメニューから[イベント/タスク]-[タスク]を選択すると、 「タスク」画面にタスクの一覧が表示されます。

- ファームウェアがインポートされたことを確認します。 グローバルナビゲーションメニューから[各種設定]-[リポジトリ]を選択し、 [リポジトリ設定]画面を表示します。画面左側で[ファームウェア]を選択し、右画面で [ファームウェア]タブを選択します。 インポートを行ったファームウェアが[ファームウェアリスト]に表示されることを 確認してください。
- 7. 対象サーバをメンテナンスモードに設定します。 グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画 面を表示します。 なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間がか かる場合があります。 ファームウェアアップデート対象ノードを選択し、[アクション]-[メンテナンスモー

ド設定]を選択し、メンテナンスモードに設定してください。

- 8. 対象サーバを選択します。
- [カラム表示]で[ファームウェア]を選択します。 ファームウェアアップデートをするノードのチェックボックスを選択します。 (現行バージョンより版数の高い版数がインポートされ、最新バージョン欄に そのファームウェアの版数が表示されている状態でないとチェックボックスの選択が できないようになっています。) [アクション]ボタンから[ファームウェア更新]を選択し、[ファームウェアアップ デート]ウィザードを表示します。
- ファームウェアアップデートを開始します。
   [ファームウェアアップデート]ウィザードに従い、設定項目を入力します。(設定項目の入力は、ヘルプの[管理]→[「ノード」画面]→[ファームウェア更新]と移動し、
   [ファームウェア更新]ヘルプを参照してください)
   ファームウェアアップデートの開始後、作業が ISM のタスクとして登録されます。
   作業の状況は「タスク」画面で確認してください。
   グローバルナビゲーションメニューから[イベント/タスク]-[タスク]を選択すると、
   「タスク」画面にタスクの一覧が表示されます。
- 10. BIOS, PCI カードのオンラインファームアップの場合、対象サーバの再起動を 行います。
- 11. 対象サーバのメンテナンスモードを解除します。 グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画 面を表示します。

ファームウェアアップデート対象サーバを選択し、[アクション]-[メンテナンスモー ド設定]を選択し、メンテナンスモードを解除してください。

12. 対象サーバのファームウェアバージョンが上がったことを確認します。 グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画 面を表示します。

ファームウェアアップデートを行った機器のノード名をクリックし、[プロパティ]を 選択します。

[アクション]ボタンから[ノード情報取得]を選択し、ノード情報取得を行います。 グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画 面を表示します。

[ノードリスト]画面内の[カラム表示]で[ファームウェア]を選択することでアップ デート後のバージョンが表示されます。

以上でサーバのファームウェアアップデートは完了です。